

卒論への一步 を踏み出す

卒論のプロセスを把握する

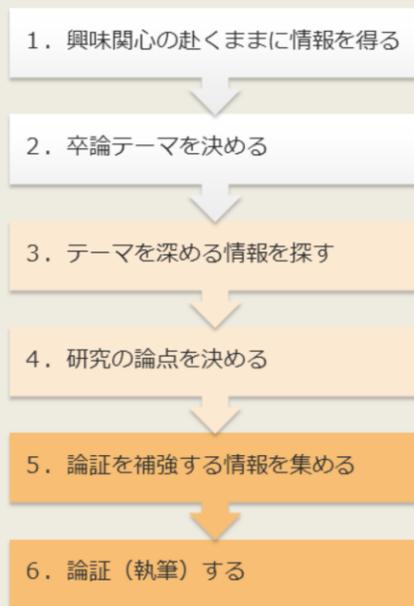
プロセス①テーマを決める

プロセス②論点を決める

プロセス③論証する

文献を探してみる

まずは自分の現在地を把握しましょう
あなたは次のプロセスのどの段階にいますか？



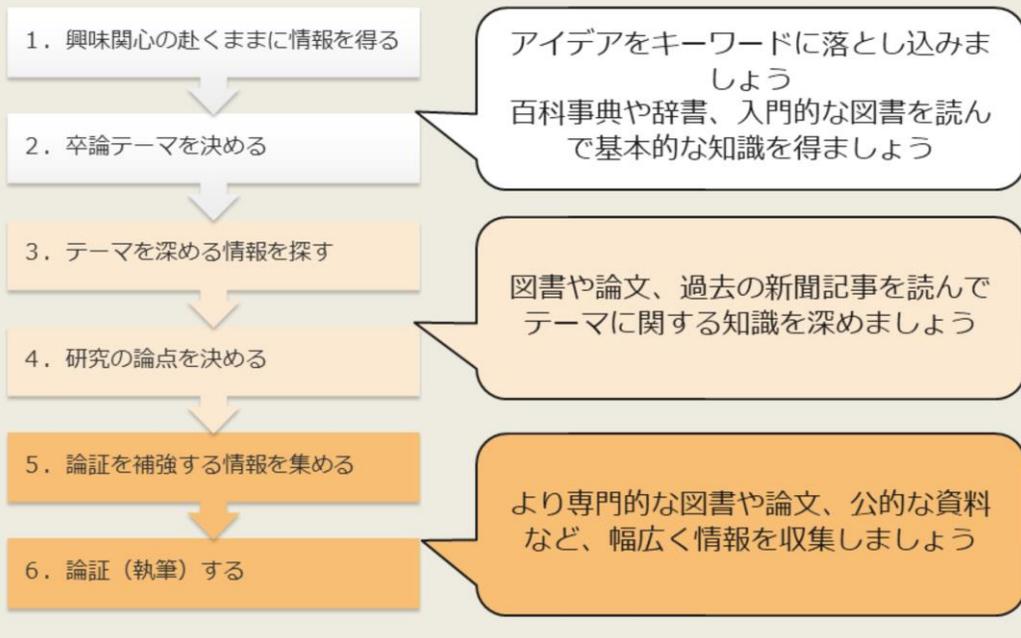
これまで、卒業論文のプロセスに沿って、目的に合った文献を探す方法を紹介してきました。ここからは、自分自身の卒業論文のプロセスを進めましょう。

今、あなたはどのプロセスにいますでしょうか。

卒論テーマを決める段階でしょうか、研究の論点を決める段階でしょうか、論証する段階でしょうか。

あなたがいるプロセスでは、次にどんな文献を読む必要がありますか？

次に進むためにどんな文献が必要ですか？



各プロセスで、どんな文献を読む必要があるかを図に示してみました。
あなたが今いるプロセスについて、確認してみましょう。
その文献を探すために、どのツールを使い、どうやって入手しますか？

どうやって文献を探しますか？

このガイダンス資料中のヒント

- 事典類：[7ページ](#)
- 図書：[9ページ](#)
- 論文：[47ページ](#)
- 新聞：[43ページ](#)
- 公的な資料など：[46ページ](#)

実際に文献を入手し
読んでみましょう

文献の調べ方・探し方の案内サイト

- 大阪大学附属図書館Webサイト「[しらべる](#)」
- 国立国会図書館「[リサーチ・ナビ](#)」
 - 幅広いジャンルの調べ方が掲載されています
- 国立国会図書館「[Asia Links](#)」
 - アジア地域の情報の調べ方を国別・テーマ別に探せます

どうやって文献を探すか、このガイダンス資料で紹介してきましたので、分からなくなったら、リンクをクリックしてみてください。

また、附属図書館Webサイトのほか、国立国会図書館のWebサイトでは幅広いジャンルの調べ方が「リサーチ・ナビ」に掲載されています。

同じく国立国会図書館においては、アジア地域の情報の調べ方に特化して、国別、テーマ別に探せる「Asia Links」という便利なサイトも公開されています。情報の信頼性も高く、外国語学部の学生さんには便利なサイトだと思いますので、ぜひのぞいてみてください。

【しらべる】

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/research/>

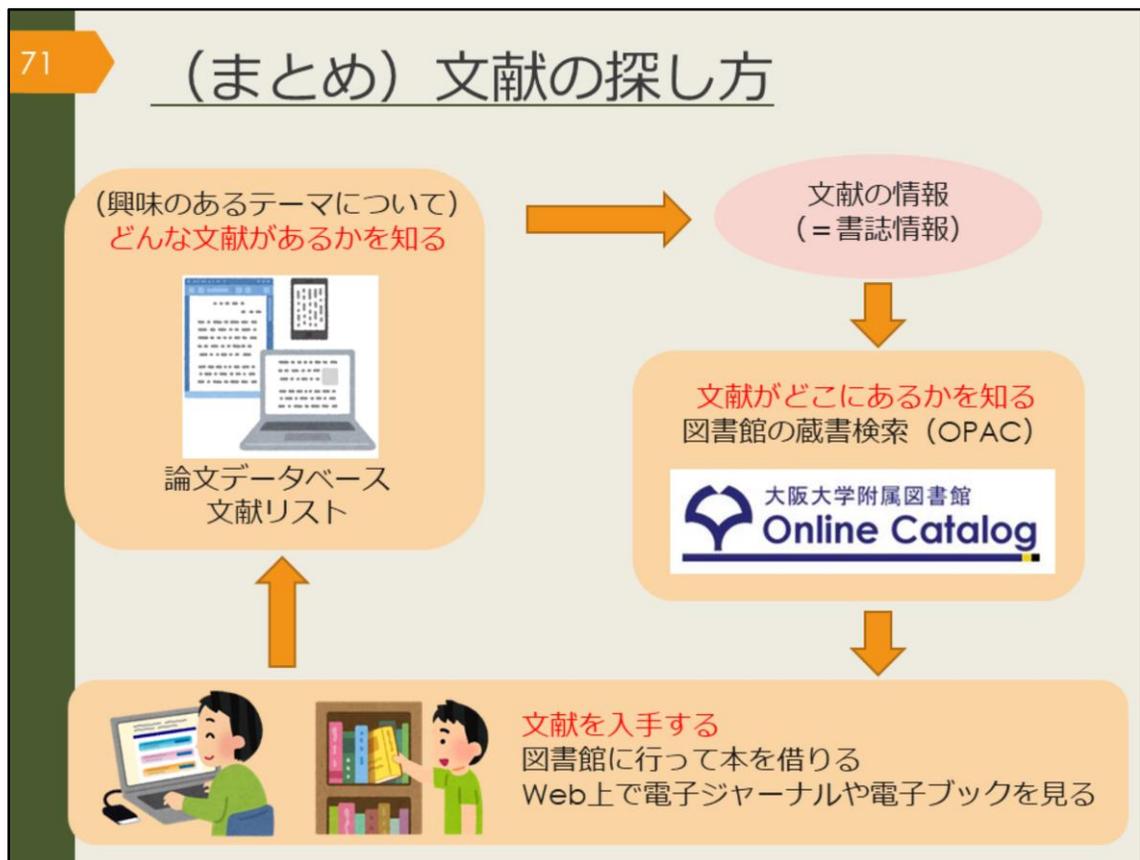
【リサーチ・ナビ】

<https://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/>

【Asia Links】

<https://rnavi.ndl.go.jp/asia/entry/asialinks.php>

(まとめ) 文献の探し方



ここで、文献の探し方の基本的な流れを図で振り返りましょう。卒論プロセスのどの段階でも、基本は同じです。

まずは、世の中に「どんな文献があるかを知る」ことから始まります。先生から授業中に紹介してもらったり、教科書に参考文献として書かれていたり、論文データベースなど論文を探すためのツールを使ったりして、文献の情報、「タイトル・著者・刊行年」といった書誌情報を手に入れます。

次に、その文献を実際に読むには、文献がどこにあるかを調べなければいけません。無料で入手できる方法としては、阪大OPAC、阪大契約データベース、インターネットのフリーアクセス、などがあります。有料でしか入手できない場合は、学外から取り寄せる方法、自分で購入する方法、と調べを進めてみましょう。文献を探すことに慣れてくると、この文献はここにありそうだ、という見当がついてくるでしょう。

図書館は文献入手をサポートします

▶ 文献複写（コピーの取り寄せ）

- 到着まで：3日～1週間程度
- 費用：コピー代（白黒1枚40円～60円くらい）
 - +送料
 - +手数料がかかる場合もある

※著作権法で認められた範囲の複写に限ります。

※複数著者で構成された図書（論文集など）は、一人の著者が担当した部分が一つの著作物に該当すると解釈されるため、担当部分全てのコピーはできません。

著作権法 第三十一条 第一項

- 図書館等の利用者の求めに応じ、その調査研究の用に供するために、公表された著作物の一部分（発行後相当期間を経過した定期刊行物に掲載された個々の著作物にあつては、その全部。第三項において同じ。）の複製物を一人につき一部提供する場合

読みたい文献があるけれど、大阪大学では所蔵していない・・・そんなときも図書館はサポートします。

雑誌論文・記事はコピーを取り寄せることができます。コピー代と送料がかかります。

図書は、著作権法第31条により、全文コピーを取り寄せることができません。全ページの半分以下、であれば取り寄せ可能です。

また、図書の場合は、次で紹介するように、現物を取り寄せて借りることも可能です。

図書館は文献入手をサポートします

▶ 現物貸借（図書現物の取り寄せ）

- 到着まで：3日～1週間程度
- 貸出期間：到着してから2～3週間程度
- 費用：往復の送料（1,200円～2,000円くらい）
+手数料がかかる場合もある

※館内利用のみ（自宅への持ち帰り不可）などの条件がつく場合があります。

※雑誌、参考図書、古い資料などは基本的に借りることができません。

利用時の注意事項

- 文献複写や現物貸借は、他大学や他機関との相互協力で成り立っている制度です。借り受けた資料は大切に扱うようお願いします。汚れたり破れたりした場合は弁償となる場合があります。

図書現物は所蔵する大学図書館などから取り寄せることができます。おおよそ2週間から3週間程度、借りて読むことができます。

基本的には、自宅への持ち帰りが可能な条件で取り寄せを手配しますが、所蔵する図書館の方針によっては、外国学図書館内での利用に限定される場合もあります。

図書の取り寄せには往復の送料がかかります。雑誌は現物を借りることができませんので、該当ページのコピーを取り寄せる方法になります。

文献複写・現物貸借の申し込み方法

- OPACでヒットした場合
 現物の取り寄せは 、コピーの取り寄せは  から申込み可能
- データベースで大阪大学リゾルバがある場合
 [大阪大学リゾルバ](#) をクリックして、
[学外からの文献取寄せ](#) を申し込む  から申込み可能
- それ以外の場合
 WebサイトやOPACの「Webサービス」から申込み可能



文献複写、現物貸借を申し込む場合は、阪大OPAC、大阪大学リゾルバ、附属図書館WebサイトのWebサービスからインターネットで申し込むことができます。カウンターでは、紙の申込書を用意していますので、相談に来られた際に、その場で申し込むこともできます。

図書館は文献入手をサポートします

▶ 訪問利用（読みたい資料がある図書館へ行く）

- ▶ 手続き（問い合わせや紹介状作成）には、3日～1週間程度かかります。
- ▶ 早めに外国学図書館へご相談ください。
- ▶ [関西大学](#)、[みんぱく図書室](#)は手続きなしに訪問利用が可能です。



つぎに、学内で入手できない資料を、学外の所蔵館へ出向いて閲覧・複写することができる、訪問利用という方法を紹介します。事前の問い合わせや紹介状が必要な大学図書館がありますので、訪問希望日の3日前までに、余裕をもって外国学図書館にお申し込みください。

阪大生の皆さんは、関西大学の図書館は、協定により、事前問い合わせが必要なく、個人で登録すれば貸出が可能です。また、みんぱく図書室は、一般にひろく公開されている図書室ですので、事前問い合わせは必要ありません。

ただ、いずれの図書館も、利用登録には身分証明書が必要なので、訪問する時にはリンク先の利用案内をよく確認しましょう。

【関西大学】

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/houmon/#kansaiuniv>

【みんぱく図書室】

<https://www.minpaku.ac.jp/sharing/library/information/general>

大学院生に気軽に相談できます



▶ ラーニング・サポーター（LS）

- ▶ 学生の皆さんの学びをサポートする大学院生スタッフです
- ▶ 図書館3階「るくす」にてお待ちしております
- ▶ スケジュールは[こちら](#)をご覧ください。

サポート内容

- 学習相談
- レポート作成のアドバイス（原稿の日本語チェックにも対応）
- パソコンの操作法の説明
- 各種ミニ講習会の実施 など

外国学図書館では、大学院生のラーニング・サポーターが、3階るくすで、学生の皆さんの学びをサポートしています。文献の探し方、入手方法が分からない場合には、ラーニング・サポーターにも、お気軽にご相談ください。

【[こちら](#)】（LSスケジュール）

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/gaikoku/ta/#activity>

箕面市立図書館を使う

▶ 箕面市立図書館について

- 箕面市内に7館ある
- 新図書館は外国学図書館と**箕面市立船場図書館**が一体化したつくりになっていて、2階に箕面市立図書館の資料を配置。資料は**市のOPAC**で検索できる。

▶ 貸出券の作成について

- 外国語学部、言語文化研究科言語社会専攻の学生は箕面市立図書館の「通勤・通学」区分で貸出券を作成できる
- 学生証と住所が確認できる身分証を持って2階サービスカウンターで申込み

▶ 貸出期間、冊数、予約などのサービス

- 貸出期間15日間（1回のみ延長可）
- 貸出冊数は20冊まで
- 予約・取り寄せも可。**箕面市立図書館のWebサービス**から申し込める。

キャンパスが位置する箕面市には、大学図書館だけでなく7つの公立図書館があります。

その中で、皆さんにとって一番身近な図書館となるのはおそらく箕面市立船場図書館です。

この春開館した新図書館は外国学図書館と船場図書館が一体化したつくりになっていて、2階に船場図書館の資料が配置されています。

実用書や小説など、大学図書館には所蔵が少ない分野の資料を閲覧できますので、ぜひ足を運んでみてください。

所蔵資料は箕面市図書館のOPACで検索できます。

外国語学部・言語文化研究科言語社会専攻の学生は「通勤・通学」区分として箕面市立図書館の貸出券を作成できます。

学生証と住所が確認できる身分証を持って、2階サービスカウンターでお申込みください。

資料の貸出期間は15日です。次に予約がなく、ほかに借りている本に延滞がない場合には、1回のみ延長できます。

貸出冊数は20冊までです。

貸出中の資料や、他の箕面市図書館に所蔵がある資料については、予約や取り寄せも可能です。図書館2階のサービスカウンターか、箕面市立図書館のWebサービスからお申込みください。

【箕面市立船場図書館】

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/minohsemba/>

【箕面市立図書館 OPAC】

<https://webopac.city.minoh.osaka.jp/opw/OPW/OPWSRCH1.CSP>

【箕面市立図書館 Webサービス】

<https://webopac.city.minoh.osaka.jp/opw/OPW/OPWMAIN.CSP>

国立国会図書館を使う

▶ 国立国会図書館について

- ▶ 日本で唯一の国立図書館であり、国内最大の蔵書数を誇る
- ▶ 東京本館、国際こども図書館、関西館の3館がある
- ▶ 大阪大学から一番近いのは京都府精華町にある関西館
- ▶ 満18歳以上なら誰でも利用可能だが、個人への貸出サービスはしていない

▶ 来館すれば利用できるサービス

- ▶ 所蔵資料の閲覧・複写・相談
- ▶ 豊富な電子ジャーナルやデータベースの利用

▶ 遠隔で利用できるサービス

- ▶ 遠隔複写サービス
- ▶ 図書館間貸出し

ここからは、国立国会図書館の使い方を案内します。

大阪大学から一番近い関西館は、大阪市内から1時間半ほどで行ける距離にあり、学術書を中心に220万冊以上、洋雑誌は関西館が主な所蔵館となり、約4万5000タイトルを所蔵しています。ほかに、アジア関係資料と国内博士論文を所蔵しています。

個人への貸し出しサービスは行っていませんが、来館することで利用できるサービスがたくさんあります。電子ジャーナルやデータベースも豊富で、その場でコピーを入手できます。

また、来館しなくても遠隔で利用できるサービスもありますので、次のスライドで詳しく紹介します。

【国立国会図書館】

<https://www.ndl.go.jp/>

【電子ジャーナルやデータベース】

https://www.ndl.go.jp/jp/use/e_journals/index.html

国立国会図書館を使う 遠隔で利用できるサービス

- ▶ 遠隔複写サービス（コピーの取り寄せ）
 - ▶ 申込み方法は2通り
 - ▶ 外国学図書館経由の文献複写サービスで申込み
 - ▶ 「[インターネット限定登録利用者](#)」になって個人で申込み
 - ▶ コピー代、送料がかかる

- ▶ 図書館間貸出し（外国学図書館への図書の取り寄せ）
 - ▶ 外国学図書館経由の現物貸借サービスで申込み（個人申込は不可）
 - ▶ 外国学図書館内で閲覧できる、自宅等への持ち帰りは不可
 - ▶ 片道の送料がかかる（1,000円程度）

遠隔で利用できる国立国会図書館のサービスは、遠隔複写サービスと図書館間貸出です。

遠隔複写サービスは国立国会図書館が所蔵する資料のコピーを取り寄せるサービスです。個人でも申し込みが可能です。詳細はリンク先をご覧ください。

図書館間貸出は、国立国会図書館の所蔵図書を外国学図書館に取り寄せ、館内で閲覧できるサービスです。こちらは個人での申し込みはできませんので、外国学図書館のカウンターでお申込みください。

【インターネット限定登録利用者】

<https://www.ndl.go.jp/jp/registration/index.html>

国立国会図書館を使う デジタル化された資料を見る

▶ 国立国会図書館デジタルコレクション

- 国立国会図書館が収集・保存しているデジタル化資料を公開。
1968(昭和43)年までに受入れた戦前期・戦後期刊行図書、議会資料、法令資料及び児童書、江戸期以前の和古書、清代以前の漢籍等。
- 公開範囲は三段階

図書 や **電子書籍・電子雑誌** . . . 「インターネット公開」 誰でも閲覧可。

国立国会図書館/図書館送信限定 . . . 「図書館送信資料」

総合図書館と外国学図書館の専用PCで
平日9時-17時に閲覧可。
印刷は有料で申込みが必要。

国立国会図書館限定 . . . 「国立国会図書館内限定」

国立国会図書館のPCで閲覧可。
文献複写での取り寄せも可。

最後に、国立国会図書館がインターネット上で公開している、デジタルコレクションを紹介します。戦前の資料、江戸期以前の和古書、清代以前の漢籍等、著作権の切れた古い資料は公開され、インターネット上で閲覧できる場合が多いです。

誰でも閲覧可能なインターネット公開の資料、
外国学図書館の専用パソコンで閲覧可能な図書館送信限定の資料、
国立国会図書館でのみ閲覧可能な資料の3種類の公開範囲があります。
限定資料であっても、検索自体は自宅からでもできますので、ぜひ調べてみましょう。

【国立国会図書館デジタルコレクション】

<https://dl.ndl.go.jp/>

演習④次の一歩



- 問題 1.
- 卒業論文に向けて、あなたが次に読む文献を1つ挙げてください。文献の情報は下記を参考にできるだけ詳しく書いてください。
 - 図書の場合はタイトル、著者名、出版年、出版社など。
 - 論文の場合は論文のタイトル、論文の著者名、雑誌のタイトル、巻号、ページなど。
- 問題 2.
- 上記で挙げた文献の入手方法を下記を参考に簡単に述べてください。
 - ○○図書館の○階の請求記号○○にあるので借りる。
 - 電子ジャーナルでヒットしたのでPDFをダウンロードする。
 - ○○図書館に紙の雑誌があるのでコピーする。
 - 大阪大学の図書館には所蔵していないのでコピーの取り寄せを申し込む。

それではここで最後の演習です。この問題には解説はありません。自力で解いてみましょう。

図書館は皆さんの学習・研究を応援しています。
質問がありましたらお気軽にどうぞ。

外国学図書館 利用支援担当

メール：ml-cir@library.osaka-u.ac.jp

電話：072-730-5126（平日9:00-17:00）

82

お疲れ様でした！

これで、外国学図書館の論文検索ガイダンスは終了です。お疲れさまでした。
図書館は皆さんの学習・研究を応援しています。お気軽にご質問ください。